

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 食育事業
-------------------	-------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	1	市民の主体的な健康づくり意識の確立
小分類	1	健康づくり運動の推進
主要な施策	2	食を通じた健康づくりの推進
事務事業番号	003	事務事業コード 12112003 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	食育事業
------	------	------------	------

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 食への関心を深め、将来につながる正しい食生活習慣を身につけて健やかな食生活を送り、生活習慣病の予防を図る。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 子育て中の世代を対象として、正しい栄養の知識や将来につながる正しい食生活習慣について栄養士による講話や調理実習、また、試食や親同士の交流などを通し日ごろの食生活の悩みに応える栄養相談・栄養教室を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もぐもぐ食育広場 年3回 15名/回</li> <li>・へるしー講座 年3回 20名/回</li> </ul>
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> 食生活習慣が確立する時期において、食への関心を深め、適切な栄養の知識をや調理方法などを知り実践することで将来の健康づくりにつながる。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 母子保健法・健康増進法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	もぐもぐ食育広場	人	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	29	/	/	/	/
	へるしー講座	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	5	/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円	14	12	12	12	12	36
	一般財源	名称	千円	138	223	348	348	348	1,044
合 計				152	235	360	360	360	1,080
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	30	31			
			嘱 託 員	千円	94	101			
			臨時職員	千円	8	8			
			合 計		132	140			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 母子保健法・健康増進法により健康な食生活を過ごすために、市民の健康づくりを推進する市が実施することは妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 乳児期の離乳食の進め方、子育て世代の必要な栄養の知識や食生活の情報提供など実施している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 事業効果を図るため、内容・周知方法等検証し、次回の事業へ反映させている。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 事業を行う上で必要最低限のものとしていることから削減は難しい。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	定期的な食生活習慣の基礎が確立される乳児期から、子育て中の世代に支援することは、家族全員の食生活の見直しや将来の健康づくりにつながっていくことから継続していくことは必要と考える。
-----------	----------------------	---

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）